

## 北条鉄道列車事故のこと

増田ハツコ（加西市在住 当時、小学校低学年）

あれは終戦前（昭和20年3月？）の夕暮れに近い頃でした。目にうつったのは、飛行機が下りてきて、間なしに列車が来たかと思うと、列車が転覆事故を……。見通しの良い自宅からはっきりと見ました。その頃の私（小学校低学年）は、ただ唾然とするとともに、現場に走り寄ったことを覚えていますが、何名かの死者と怪我を負った人が数10名、その時は「タンカ」で綱引のくらぶに運ばれていました。以上、幼い時の出来事は、今でも頭の片隅に残っており、戦争時の悲惨さが、脳裏をかすめます。

年月が過ぎ、私は中野の「九会中学校」に進み、学校から見える「笠形山」を見ながら、校歌にあるように鶉野の広々とした広がりや笠形山の景色は、学校生活においても、懐かしく思い出されます。

現在は昔の面影はなく、工場、会社、家屋が次々と建立され、飛行場周辺はどんどんと発展しています。最近、「sora かさい」に立ち寄ったり、ガイドさんにより、防空壕等戦争時の様子がわかる史跡を案内され、今に思えば現在の日常生活が夢の夢であります。列車事故にしても、何十年間は語られもしなかったことと思います。今の平和（戦争時のことを思えば……）が次の代までへと続くことを願ってやみません。

以上乱筆、乱文ですが、昔のことを思い出して書きました。